

2019年1月22日

各位

CDP 2018 において最高評価である「気候変動Aリスト」を獲得

小野薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：相良 暁、以下、当社）は、国際的な環境非営利団体 CDP から、「CDP 気候変動 A リスト」に選定され、気候変動に対する活動において世界的に優秀な企業として評価を受けましたのでお知らせします。



当社は「小野薬品環境指針」に基づいた環境自主行動計画を定め、事業活動に伴って排出される温室効果ガスの削減に向けて全社的に取り組むとともに、環境に対する企業の社会的責任を認識し、事業活動において、環境に配慮した活動をすすめ、持続可能な社会、豊かな地球環境実現に向けて取り組んでいます。また、気候変動が事業に及ぼす影響を分析し、環境への対応を経営上の重要課題として活動強化を図り、低炭素社会の実現に向けて業界をリードできるように努めています。

今後も当社は、革新的な医薬品の創出によって社会に貢献するとともに、持続可能な社会の実現に向け取り組んでいきます。

CDP について

CDP は、企業や政府が GHG 排出量を削減し、水資源を保護し、森林を保護することを推進する国際的な非営利団体です。CDP はさまざまな気候変動に関する調査の中で投資家による投票で第 1 位に選ばれ、運用資産総額 87 兆米ドルを有する機関投資家と協働し、投資や購買の力を活用して、企業の環境影響の開示と管理を促進しています。世界の時価総額の 50% 以上を占める 7,000 社以上の企業が CDP を通じて環境データを開示し、また、750 以上の都市、州および地域も情報開示を行っています。CDP のプラットフォームは、企業や自治体がどのような環境変化を推進しているかを示す情報を最も多く有する世界的な情報ソースです。CDP（旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）は、We Mean Business の創設メンバーです。詳細については、www.CDP.net をご覧ください。

CDP 評価について

CDP は、毎年、世界中の数千社にのぼる企業の環境影響や、それによる事業リスクおよび機会について調査を行っており、独自の評価を実施し、結果を発表しています。2018 年は、運用資産総額 87 兆米ドルを有する 650 の機関投資家や、調達費用総額 3.3 兆米ドルにのぼる 115 の企業・団体を代表して、調査が行われました。回答企業は、気候変動や森林減少、水のセキュリティといった問題にどのように効果的に対応しているか、その回答内容に基づき A から D-のスコアで評価されます。一方、無回答企業や十分な回答を行っていない企業のスコアは F となります。

以上

<本件に関する問い合わせ>
小野薬品工業株式会社 広報部
TEL : 06-6263-5670
FAX : 06-6263-2950